

Recruit 2022年

Technical Competency Center

テクニカル・コンピテンシー・センター



採用情報

<https://www.pwc.com/jp/ja/careers/mid-career-aarata.html>

お問い合わせ

jp_aarata_career-mbx@pwc.com

© 2022 PricewaterhouseCoopers Aarata LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.



PwC あらた有限責任監査法人

Assurance Assistant

AA Interview ～転職してみて～

TCCにはさまざまなバックグラウンドを持ったAAメンバーが在籍しています。



2021年6月入所 嶋田 タ紀
前職:不動産/リロケーション
マネージメント

自慢できる風土や文化

新人へのサポート体制が整っているところです。
私が入所した時期はCOVID-19が流行し始め、世間的にもリモートワークが推奨されていました。入所初日からリモートワークとなり不安に感じておりましたが、親切的なチームメンバーと手厚いサポート体制により、監査未経験者でも安心して働き始めることができました。社内の方と直接お会いする機会は少ないですが、コーチ・メンター制度や、所属部門に関係なく自由に質問や相談ができるチャットルームがあります。これらを積極的に活用している方が多く、新人でも気兼ねなく不明点をクリアにできるところに働きやすさを感じます。



2021年7月入所 沼澤 彩加
前職:航空業界
グランドスタッフ

入所前・入所後のイメージは？

社会やクライアントとの信頼構築、課題解決力向上のため、常に変化・挑戦を続けている点に惹かれ入所しました。機密情報や数値を扱うため、厳しい研修や緊張感のある職場を想像していましたが、非常に和やかな職場で、良い意味でイメージと異なりました。他の仕事を抱えていても、優しく細やかな指導をしてくださる方ばかりで、未経験の職種ですが安心して働いています。
また、一つひとつの作業に対して感謝やフィードバックの言葉があるのは、素敵な風土であると日々感じています。
会計監査に関する知見を持ちながら、チームの働きやすさに貢献できるAAになることが、直近の目標です。



2018年12月入所 栗城 祐未
前職:接客/航空

身に付けられる知識やスキル

PCスキルと会計知識です。業務において課題を共有して解決していく風土があります。先輩方はとても丁寧に教えて下さるので、周囲と協力しながら仕事を進められます。真面目な方が多いため、仕事にメリハリが付き、継続的な自己研鑽が自然と身につく環境です。

入所後のギャップ

監査法人に堅いイメージを持っていましたが、実際は声を上げることが推奨されている社風で、チームメンバーは非常に話しやすく相談もしやすい人が多いです。色々な方と顔を合わせて働けることに面白みを感じています。

AA Interview ～仕事のやりがい～

TCC (AA) メンバーに聞きました！

AAのやりがい・オススメポイントは？

スキルアップ

40%

監査業務は会計監査の知識だけでなく、日々進化するデジタルツールの知識も必要です。最新情報が研修やマニュアルにタイムリーに反映されるので、安心して業務に従事できます。研修で学んだことをすぐに活かせるので、スキルアップを実感できます。また、簿記資格取得のサポートも充実しています。

感謝&フィードバック

25%

気難しい雰囲気や漂う静かな職場と思われがちですが、どんな作業に対しても「ありがとう！」やタイムリーに良い点・改善点のフィードバックをいただけます。ちょっとしたコミュニケーションのやりとりが、チームの一員であることを実感し、「頑張ろう！」と思う原動力にもなります。

専門性

19%

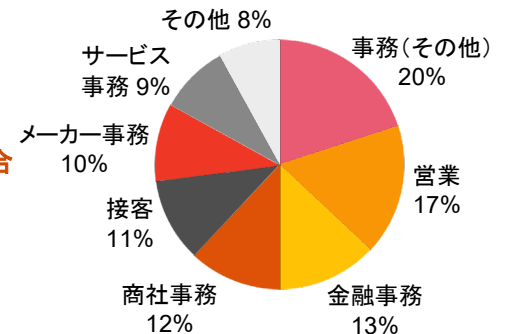
環境

14%

その他
4%

PwCあらたには、多種多様なクライアントがいるので、さまざまな業界の知識が身に付くのも魅力の1つです。また職員の多様性を大切にしており、とてもフレキシブルに対応してくれます。声を上げることが推奨する「Speak up」の文化が根付いており、新たな業務や資格取得へのチャレンジをさせてくれます。
コーチだけでなく、チームメンバーからのサポートも得られ、一人ひとりの専門性を成長させてくれる環境です。

前職の職種割合



やりがい

みんなで1つのものを作り上げていくことにやりがいと達成感を感じます。また、PwCグローバルネットワークの一員であることも、仕事のモチベーションになっております。自発的に動くことで色々なことにチャレンジさせてもらえる環境なので、できる業務が1つずつ増えていくことに日々成長を感じています。

今後のキャリアプラン

簿記2級を取得して、より専門的な知識を必要とする業務も担当したいです。コーチやチームメンバーは、仕事や勉強の悩みなど、どんな小さなことでも真摯に向き合い、適切なアドバイスをくださいます。業務に必要な会計知識やデジタルツールに精通することで、今度は私が新しく入所された方の力になりたいです。



2020年3月入所 若杉 和
前職:秘書(法律事務所)

Assurance Assistant (アシュアランス アシスタント)

AAは、Assurance Assistantの略で、監査ならびに会計に関する限定的な知識および経験を有し、テクノロジーを活用できる人財を目指しています。

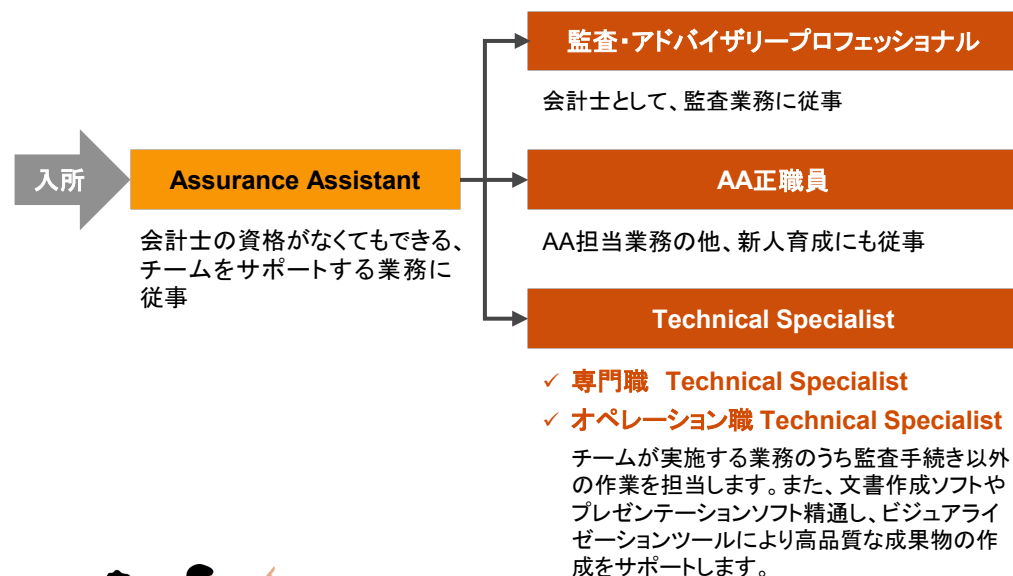
定型業務のうちデジタル化が困難な業務について、チームをサポートする業務を担います。

OJT研修後は、先輩AAやレビューアーと一緒に仕事を担当します。一つひとつ難しくない業務から担当し、ステップアップしていきます。コロナ禍のリモートワークの状況に関係なく、気軽にいつでも連絡がとれるよう職場のメンバーとチャットルームが準備されています。



AAキャリアパス

TCCでは、個人のキャリアプランを尊重しており、「一人ひとりのやりたい」を実現すべく、多様なキャリアの後押しも行っています。AAとして会計・監査の基礎を固めながら、自分だけのキャリアプランを歩めます。



AA キャリアパス TSからTSへ

AAからTSへ

入所のきっかけ

前職で培った簿記のスキルを活かせる職場を探しており、希望どおりの仕事内容と風通しの良い社風に惹かれて入所を決めました。職場は優しく丁寧に仕事を教えてくださる方ばかりです。プライベートの時間を大切にしている方も多く、チームでいる時も仕事の話ばかりではなくプライベートな話もたくさん出てくるので、そういった居心地のいい雰囲気がとても好きです。

仕事内容を教えてください

今年からTS(現場)となり、AAの時から継続して同じクライアントの監査チームに所属しています。TSになると、AAの行うアシスタント業務に加えて、リスクの低い勘定科目の手続きを実施できます。新米TSですが、担当科目はこのチームに配属になってもこなせるようしっかりと理解し、PwCのテクノロジーツールも引き続き勉強して、会計士の方や同じ部署の方にとって心強い存在になれることを目標に精進していきたいと思っています。



2018年2月入所 北川 桃子
前職:自動車部品メーカー経理
2021年 AA→TS

監査からアドバイザリーへ

仕事内容を教えてください

金融アドバイザリー業務を担当し、クライアントのニーズに寄り添い、プロジェクトに基づいた資料作成やプロジェクトマネジメントのサポートを行っています。具体的には、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトで分析、調査資料や動向のアップデート資料などを作成しており、監査アシスタントの業務と比較し、より柔軟で幅広い業務だと感じます。監査、会計に関わる業務で培った経験も活かしながら、さまざまなスキルや業界特有の知識を習得できることは、日々の充実感につながっています。

今後のキャリアプラン

自己研鑽を重ね、頼りになる存在であり続けたいです。アドバイザリー業務には会計士だけでなく、さまざまなバックグラウンドを有したメンバーが従事しています(銀行、コンサルティング会社、システム会社など)。それぞれ強みを活かして働いている環境で、日々刺激を受けます。入社してから今まで、自分を成長させる機会を頂き感謝しています。



2016年7月入所 磨矢 陽子
前職:営業(金融)
2021年 AA→TS

Technical Specialist

Technical Specialist (テクニカルスペシャリスト)

Technical Specialist(TS)は、監査および会計に関する一定の知識や経験を有し、リスクの低いエリアの手続を責任をもって実施するのみならず、業務の受入、計画、完了のエリアも行います。また、各種デジタルツールを活用したデータの分析・検証を行い、チームをサポートします。そのため、会計士などの資格を保有している必要はありません。

OJT研修後は、監査チームの一員として監査現場で業務に従事します。また、入所1年以内に簿記2級の取得を強く勧めています。その後はキャリア希望を踏まえながら、監査現場で会計士をサポートするだけでなく、一定レベルの会計知識およびテクノロジーを使いこなし、オフィス(センター)から高品質な業務を担う人材を目指しています。



TSの特徴・魅力

魅力的なTSメンバーが在籍しています。監査現場で経験を積み、さらにデジタルツールを活用し、会計知識とデジタルを強みとして活躍しています。

多様な バックグラウンド



経理財務などの会計に関わる職種のみならず、システムエンジニア、内部監査、経営企画といったさまざまなバックグラウンド出身のメンバーが活躍しています。

監査メンバーとして 業務への従事



社内研修を受講することで、監査メンバーとして多様な業務に対する監査に携わることができます。クライアントの管理職の方や幅広い部門の方とも仕事ができ、多くの経験を積むことができます。

デジタルツール 研修の充実

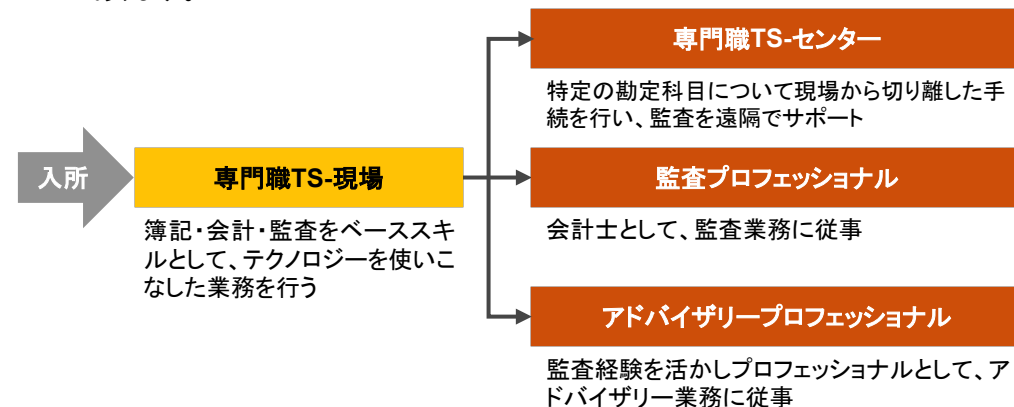


基礎的な監査知識のみならず、データ分析ツールやRPAツールの研修を行い、業務に生かすことができます。



TSキャリアパス

TCCでは、一人ひとりの描くキャリアプランを歩むことができるよう、キャリアの後押しを積極的に行っています。入所後は、専門職TSとして監査現場で経験を積み、TCCセンターメンバーとしてプロフェッショナルをサポートする、または、日本公認会計士、米国公認会計士などの資格を取得し、会計士として監査業務やアドバイザリー業務に従事していく、といった多様なキャリアパスがあります。



USCPA合格

TSからUS会計士へキャリアアップ

入所のきっかけ

新卒で事業会社の経理部に入り、2年間支払業務・仕訳起票を担当するなかで、より財務諸表を俯瞰でき、企業の全体を捉えられる仕事をしたいと思うようになり、監査法人への転職を決めました。大手総合ファームの中でPwCは最も監査に強いイメージがあり、日本の監査市場において外資系クライアントを数多く持ち、ダイバーシティが整っているところに魅力を感じて入所を決めました。

仕事と勉強の両立方法について

入所前にUSCPAの1科目に合格し、入所後に残りの3科目に合格しました。監査の仕事は忙しいですが、年間を通して繁忙期と閑散期があります。閑散期の時間を利用し、とことん資格勉強に使いました。また、監査業務の実務に携わることで、テキストでイメージしにくい部分について理解を深めることができました。

今後のキャリアプランについて

国内で監査の実務経験を積み、PwCの海外法人への出向にチャレンジしたいです！



2019年7月入所 徐 典
前職: 経理/インターネットサービス業

TSメンバー紹介

TS Interview ～転職してみても～

TCC(TS)メンバーに聞きました！

入所～1年目TS



2019年4月入所 大洲 翔
前職: 経理アウトソース会社

入所の決め手は？

USCPAの資格取得を目指して学習を始めていた際、通学していた専門学校主催のオフィスツアーに参加したことがきっかけです。そこで伺ったパートナーのお話(PwCのビジョンなどについて)に感銘を受け、私もPwCあらたで働きたいと強く思いました。

入所してみても...

資格の有無に関わらず皆さんが気さくで、お互いに尊敬や感謝の念をもって仕事をされていることに感激しました。最近ではアシスタント業務に加え、リスクの低い領域の監査業務にも徐々に携わっています。クライアントとコンタクトを取り、受領資料を元に検証や分析を行い、調書の文書化を行います。プライベートでは、ジムで体を動かし頭をスッキリさせてから資格試験の学習をしたり、リモートワークで削減できた通勤時間をフル活用しています。

US会計士志望TS



2019年7月入所 林 雪
前職: 通信会社

入所の決め手は？

米国公認会計士の資格が活かせる転職先を探していたところ、PwCあらたでは米国公認会計士が活躍できる場がたくさんあることを知り、入所を決めました。

入所してみても...

社内は非常に風通しが良く、何でも気軽に相談でき、分からないことをすぐに聞ける風土があります。入所前、監査法人に対して多忙なイメージを持っていましたが、実際働いてみると、繁忙期と閑散期がはっきりしているため、プライベートにおいてもスケジュールを立てやすいです。また、多様な働き方に理解があり、制度も整っています。私は2歳の息子がおり、時間短縮勤務をしています。子育て中の方にとっても働きやすいと思います。

入所したばかりの頃は、デジタルツールを使いこなすことは難しいですが、研修や実務を通してスキルが身に付いていきます。日々さまざまなツールが導入、アップデートされるに伴い、私たちもスキルアップしています。



AA >>> 専門職(現場)TS

入所の決め手は？

資格の取得に係る費用補助制度といった勉強支援が整っていることを魅力に感じ、自分自身のスキルアップにつながると思い、AAとして入所しました。現場で経験を積みながら、簿記2級とデジタルスキルを身に付け、2020年7月にAAからTSに職種転換しました。

入所してみても...

簿記検定の取得に係るサポートも充実しており、入所してから3級、続いて2級を取得することができました。閑散期には2週間程度の長期休暇も取ることができるため、メリハリをつけて仕事することができます。年次を重ねると仕事を自分の裁量で任されるようになり、自分なりに短時間で正確に作業できるように工夫することで、チームから直接感謝されることも多く、やりがいを感じています。



2018年1月入所 初田 有里
前職: 建築メーカー

専門職(センター)TS

入所の決め手は？

会計とデジタルを組み合わせられる仕事を探して転職活動をしていた時、監査の仕事をしながら、効率化、デジタル化を進めていく部署であることを説明会で聞き魅力に感じました。また、まだ作られて1年ほどの組織だったので組織づくりに携われると思い、入所を決めました。

入所してみても...

周りのメンバーは優秀な人が多く、常に多様な価値観を持ち、話し合いを行うので、とても勉強になります。前職のデジタルの知識を活かして標準化・効率化のためのフォーマットを作成したところ、利用してもらった監査チームから「作業が明確になった」「時間が削減できた」と言ってもらえました。会計士が持っていない分野の知識を使い貢献できた時にやりがいを感じます。



2017年5月入所 森田 高史
前職: 情報システム会社

TS & AA の1日

一人ひとりの働き方を尊重し、メインの職場として、大手町オフィス(TCCセンター)またはクライアント先を選ぶことができます。働く場所が変わっても、作業内容に変わりはありません。



大手町オフィス(TCC)

出社@大手町オフィス

TS & AA:
作業進捗管理システムで今日1日の作業内容や納期を確認！お仕事をスタートします。

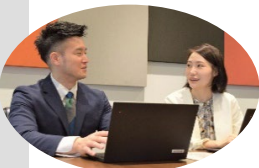
TS & AA:
不明点がある時は、先輩や監査チームに質問しながら進めます。作業内容によっては、2～3人のチームを組む場合もあります。

キッチンカーで日替わりのお弁当を購入したり、みんなでオフィス周辺のお店へ行きます。

AA:
午前中から取り掛かっている作業の合間に、往査先にいる監査チームから依頼があった紙面調書の受け取りや、トランク(監査調書・文具など)の発送作業を行います。繁忙期は、確認状の発送作業を行います。

TS:
AAが担当した作業をチェックし、作業へのフィードバックも行います。また、TCCで請け負う勘定科目の監査調書を作成していきます。

TS & AA:
チェックが完了した業務を監査チームに連絡します。



今日の作業について進捗報告をします。

お疲れ様でした



クライアント往査

おはようございます

9:15

出社@往査(クライアント)先

TS & AA:
チームメンバーに今日の作業内容を確認し、お仕事をスタートします。

TS & AA:
本日の午前中は、ツールを使用してデータ加工作業です。研修の成果を発揮する時です！



往査先の品川で、美味しいお店を開拓しています。クライアントの食堂メニューをいただくこともあります。

11:45
ランチタイム

12:45

TS:
割り振られていた勘定科目の内部統制の運用テストや実証手続などを実施し、監査調書を作成していきます。

AA:
会計士の指示の下、クライアントが用意してくださった資料を確認する証憑突合やデータ加工作業を行います。「丁寧かつ迅速に！」をモットーに疑問点やわからない部分については、すぐチームメンバーに確認します。

TS & AA:
終了した作業から順に会計士にレビューしてもらいます。

17:00

17:15

今日の作業について進捗報告をします。



Remote Work の1日

時間や場所に縛られない新しい働き方が導入されています。リモートワークでも作業内容は、TCC業務またはクライアント往査業務を実施します。



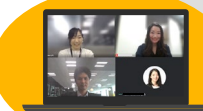
リモートワーク

おはようございます

9:15

始業@リモートワーク

TS & AA:
ウェブ会議ツールを使って朝のキャッチアップミーティングを行います。業務に行き詰まっても、グループチャットを活用して気軽に相談し合えるので、1人で悩むことはありません。



11:45

ランチタイム

自炊ランチで栄養バランスに気を付けています。残った時間は読書や好きな音楽を聴いて、リフレッシュしています。

12:45

TS & AA:
主に各種文書作成・校正、請求書・納品書などの証憑突合業務、データ加工作業を行います。

同時進行で複数の仕事を行うこともあり、優先順位を決めて、かつスピードにもこだわって仕事を進めていくマルチタスクスキルが身に付きます。

17:00

TS & AA:
今日の作業について、進捗報告をします。

17:15

お疲れ様でした



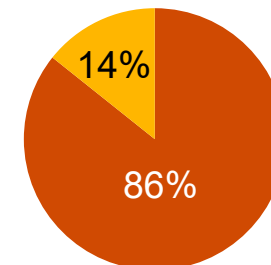
リモートワークはどうか

対面に比べて相手の状況が見えにくいため、進捗をこまめに共有し、ペースを乱さずに効率よく作業を進めることを心掛けています。報告や相談の際は、伝え方や言葉選びに気を付けるようになり、業務の理解がより深まりました。生活面では、通勤・移動に使っていた時間をプライベートの時間に割けるようになり、気持ちに余裕が生まれました。健康面では、軽い運動をする習慣を取り入れて運動不足にならないよう気を付けています。通勤や支度をする必要がないため、朝の時間をゆっくり過ごすことができます。また、多少残業がある日でも、移動がないため心身ともに楽です。

リモートワーク実施状況

コロナ禍におけるTCCでのリモートワーク実施状況です。

基本的にリモートワークをしているが、出社する日もある



業務の全てをリモートワークで行っている



2017年4月入所 干場 祥子
前職: 専門・技術サービス

Technical Competency Center

テクニカル・コンピテンシー・センター

こんにちは。

テクニカル・コンピテンシー・センター(TCC)リーダーの尻引です。TCCは、高品質な業務を実現するため、業務の標準化と自動化およびデジタルツールを活用した生産性改革を推進するミッションを持っています。また、PwCビジネスアシュアランス合同会社は、「デジタル社会に信頼を築くリーディングファーム」というビジョンの実現、そしてその先の未来(Beyond)に向けて、PwCあらた有限責任監査法人(PwCあらた)とともに監査業務やブローダー・アシュアランス・サービス(BAS)業務のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。

TCCは、監査経験のある公認会計士13名、監査および会計に関する一定の資格や経験ならびにテクノロジーに係るスキルを有するテクニカルスペシャリスト(TS)約100名、監査および会計に関する資格を有しないアシュアランスアシスタント(AA)約180名で構成されています。

TSは、リスクの低い勘定科目の監査手を担当するのみならず、テクノロジーを活用したデータ分析や監査業務でのツールの実装などを主に担当します。AAは監査の受入から完了に至るまでの事務処理や監査手続およびデータ分析の補助を主に担当します。

監査現場と事務所のどちらで業務を行っても構わないなど、働き方の多様性も重視しており、それぞれの価値観に応じた適切な働き方を推奨しています。

また、年次の評価制度では業績評価のみならず、改善提案制度やマイスター制度などを通じて部門に貢献した方たちは表彰によって評価されており、メンバーが業務にやりがいを感じ、モチベーションを高く保てるように努めています。さらに、研修制度を充実させ、AAからTSへのキャリアアップも推奨しており、資格取得補助制度などを通じてメンバーの成長をサポートしたいと考えています。



TSについては監査や会計の経験を活かしてキャリアアップしたい方、AAについては事務職としてのみならず専門性を少しでも身につけてみたい方をお待ちしています。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

Partner 尻引 善博

2002年公認会計士登録。製造業を中心としたグローバル企業の会計監査業務、内部統制報告制度に基づく内部統制監査および導入・改善支援やIFRS導入アドバイザリー業務に従事。
2013年から2015年までPwCインドに出向。
2019年7月よりテクニカルコンピテンシーセンターを担当。



監査法人が直面するデジタル化とPwCの取り組み

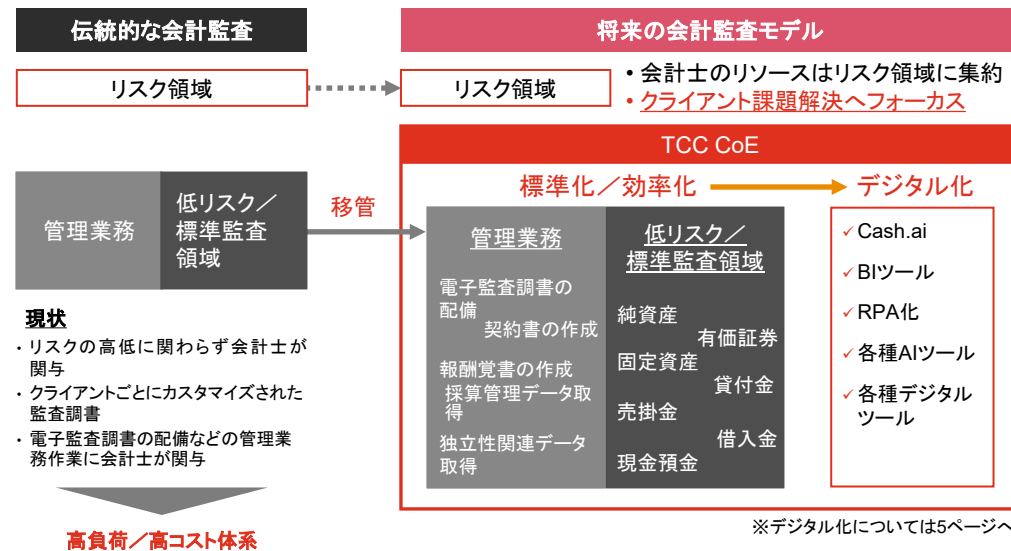
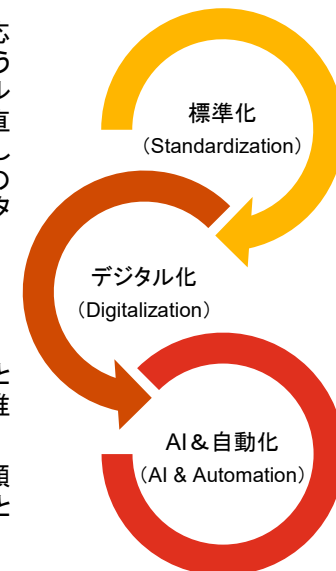
社会のデジタル化が急速に進んでおり、監査法人もこれらに対応した体制が必要とされています。監査をデジタルによって全く違うものに置き換えるためには、単にAIやロボティクスなどのツールを導入するだけでは十分ではありません。業務そのものを見直し、共通業務について標準化・集中化を図り、デジタルを前提とした業務フローへの置き換え、それによって生み出されたデータの安全かつ高度な活用があって初めて実現します。PwCは、デジタル社会においても、新たな監査に常に取り組み続けていきます。

TCCが推進する【テクノロジー × 多様なリソース】

TCCは、先進テクノロジーと多様なリソースを組み合わせることで、監査の業務プロセスを変革し、監査品質の向上と効率化を推進しています。

TCCは監査業務の標準化を担う部署でもあり、低リスクの監査領域の標準監査モデルを構築し、センターに移管し集中化することで将来の自動化に向けた業務フローを整備しています。

これらの専門業務をTSやAAが集中的に実施し、公認会計士のレビューを受けることで、高品質な業務を担保します。また、TCCではグローバルで開発された先進テクノロジーの現場における利活用をリードする役割を担っており将来のデジタル化の進展に対応した多様なリソースを維持するため、人財育成に投資していきます。

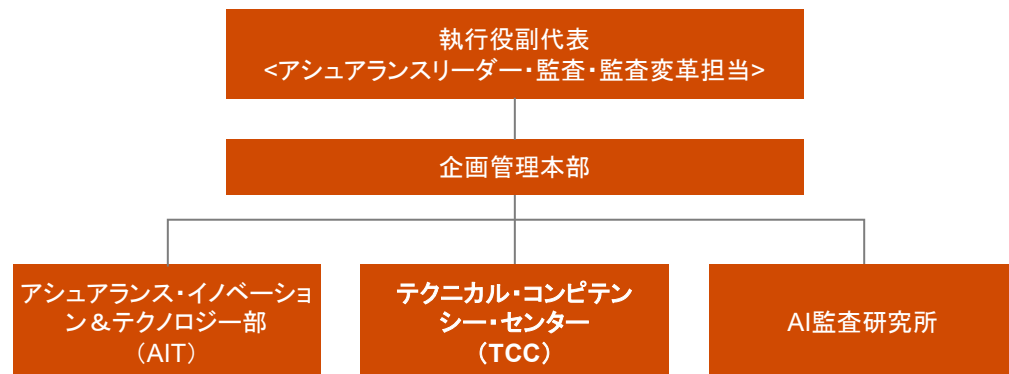


法人の業務変革をリード

企画管理本部

PwCあらたは、業務品質の向上と、テクノロジーの活用による業務変革を実現させるため、2018年7月に独立した部門として「監査業務変革部」を設置しました。監査業務変革部はその後、変革カルチャーの役割を終えたことから、さらなるデジタル化・AI化の流れに対応するため「企画管理本部」に統合されています。

企画管理本部の傘下には、アシュアランス・イノベーション＆テクノロジー部、TCC、AI研究所、人財企画室などが置かれています。業務品質の向上、社会のテクノロジーの進化への対応のため、密接な関係がある「開発・導入」「業務標準化」「人財育成」を同一部門内で有機的に連携させることで、テクノロジーの活用によるより高品質な業務を実現していきます。



法人全体で活用するAIやデジタルツールの開発、監査・アドバイザリー業務への導入推進を行います。監査業務経験者やプロジェクトマネジメント経験者、データサイエンティストなど多様なメンバーにより構成されており、AITのもとでTCCが有機的に連携しながら、法人の業務改革を推進します。

TCCは主にクライアント先で業務を実施するメンバーと、オフィス（センター）で業務を実施するメンバーに大別されます。クライアント先で業務を実施するメンバーは、監査現場を幅広く経験することができます。一方でオフィス（センター）で業務を実施するメンバーは特定のエリアをより深く・反復的に行うことができるため、TCCの中でも異なる経験を得ることができます。なお、どちらの業務を実施するかは、本人の希望するキャリアや働き方などをコーチと相談しながら決めます。

会計監査にAIを取り入れ、新たな価値創造による監査品質の向上、業務の効率化・自動化を実現するための調査研究を行います。



私たちと一緒に業務変革をリードしましょう！

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染拡大により、世界はこれまでに経験したことのないほど大きな変化に見舞われています。監査メンバーは被監査会社に出向いて監査を実施するのが通常ですが、コロナ禍においては、被監査会社とPwCメンバー両者の安全と健康を守るため、当監査法人も2020年3月から在宅勤務を原則とし、リモートワークによる業務を開始しました。

リモートワークを開始した直後は不安や不満の声もありましたが、これらに対する積極的な取り組みによりPwCメンバー自身のリモートワークに対する考え方も変わり、繁忙期であっても、多くの職員がリモートワークを通常の働き方として毎日を過ごしています。ただし、働き方の不安や悩み事の全てが解決されたわけではありません。

新たな課題への積極的な対応

- ・ハイブリットワークの導入
- ・リモートワークに関するアンケートの実施や目安箱による問題点の把握と対応
- ・オフィスへの出勤ルールの策定・運用と出勤状況の把握による出勤削減目標の達成
- ・内部オペレーションのデジタル化
- ・在宅勤務におけるセキュリティ方針の明確化
- ・在宅勤務における自宅の労働環境整備補助の実施
- ・家族介護などのサポートの充実



これまでも監査業務のデジタル化、リモート監査を進めてきましたが、COVID-19の拡大をきっかけに、より一層のデジタル化と会計データや証憑の自動取込、分析ツールやAIによる分析といった対応が必要になってきています。一方で、リモートワークによるコミュニケーションの齟齬やモチベーションの維持、自宅での働き方など、いくつかの具体的な課題も見えてきており、これらへの対応も重要事項と認識しています。私達は、新しい日常においても高品質な監査を提供するという目的を達成するため、さまざまな取り組みを継続していきます。

・TCCの取り組み

TCCでは、業務の自動化・標準化に取り組み、積極的にハイブリットワークを導入しています。



- ・紙面による契約書の締結
- ・紙面による確認状・請求書の発送
- ・手作業による監査報告書・監査概要書の作成
- ⋮



- ・ロボティクス、AI、RPAなどデジタルツールの導入による標準化・デジタル化

デジタル時代に向けて

組織体制と取り組み

PwCあらたは、これまで蓄積してきたデジタルに関する知見と、監査に関する専門性を組み合わせることで、データ社会において、最も効率的に、かつ深度をもった監査を追求していきます。監査を実施する人がデジタルを理解し、使いこなせる文化に馴染んでいるか、そのうえでデジタルを使いこなせているかという点を重視しており、組織体制を整え、次代に向けてさまざまな施策に取り組んでいます。

◆ 監査業務変革の推進体制

監査法人全体のデジタルトランスフォーメーションを促進するインフラを整備

ー デジタルLab

ツールの共有や活動を推進するプラットフォーム

ー デジタル研修

デジタル研修を全職員に対して毎年実施

※ツール・システムの詳細は25ページへ



業務の標準化・自動化

◆ データ連携 システム／ツール

ー 迅速・効率的かつ安全な情報共有

・ Connect

被監査会社との監査関連資料共有システム

・ Data Platform

被監査会社のデータを常時蓄積し活用

・ Extract

被監査会社の会計システムと接続し、データを抽出

◆ AI化・デジタル化 システム／ツール

ー 監査チームでのリアルタイムな連携

・ Aura

オンライン監査調書システム

ー 監査業務の適時・適切な実行およびインサイトの提供

【監査手続の自動化】

・ RPA

ソフトウェア型ロボットによる業務の自動化ツール

・ AI-リスク評価システム

財務分析システム

・ Cash.ai

AIを利用した現預金の監査手続自動化システム

・ Smart Audit Platform

AIを利用した詳細テストや開示チェックの自動化システム

・ GL.ai

AIを利用した異常検知システム

【高度なデータ分析】

・ Halo

膨大なデータ分析を迅速化・視覚化する監査システム

・ データ分析ツール

データの加工作業を容易にするツール

・ データ可視化ツール

データを直感的にビジュアル化するツール

【監査手続のデジタル化】

・ 電子確認状システム

確認手続きを電子化するシステム

・ 契約書・監査報告書の電子化

電子署名に押印するツール

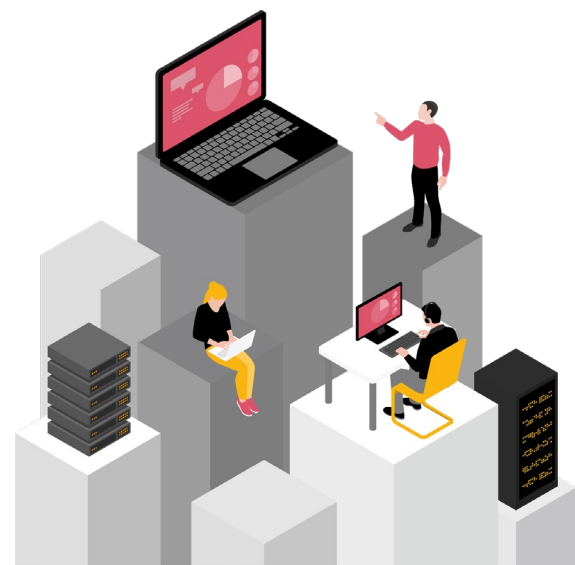


TCCの役割

TCCは、従来、会計プロフェッショナルがマニュアルで作業してきた業務を、標準化・集中化することで高品質かつ効率的な業務を図るだけでなく、さまざまな情報をデジタル化することで、あらたな監査を生み出す組織です。そのなかでもTCCメンバーは監査チームの一員として、監査業務に先進テクノロジーの導入および普及をする役目を担っています。また、PwCでは独自のシステムを開発し、グローバルでそれらのシステムを取り入れることにより、クライアントのデジタル化を支援しています。

会計プロフェッショナル

デジタル化は、新たな時間を生み出すだけでなく、人間特有のバイアスを排除したうえで異常か否かを検証できるようになります。それにより、監査人は、適時に高度な判断を伴う業務に注力し、クライアントとより深いコミュニケーションを築き、高品質なサービスを提供することができるようになります。



デジタル時代に向けて

システム・ツール一覧



デジタル化

• Aura

監査業務に関するグローバルなオンライン監査調書システムであり、PwCが全世界で実施する全ての監査業務に使用されています。従来の複数拠点の監査をサポートするワークシェア機能や品質チェック機能に加えて、最新の状況をリアルタイムに連携することも可能となり、高品質かつ効率的な監査を実現します。

• 電子確認状システム

電子確認状システムの導入により、確認状の発送および回収業務の効率化と回答結果に対する迅速なフォローアップを実現します。確認手続きでは、PwCが開発するPwC's Confirmation System (PCS) と国内の4監査法人で運営する会計監査確認センター合同会社 (ACC) を利用しています。

• 契約書・監査報告書の電子化

合意内容を証拠として残すため、これまで紙に印鑑を押印して取り交わされていた契約書や報告書に代わり、電子データに電子署名をすることで、書面による契約と同様の証拠力を担保し、効率化を実現します。

データ連携

• Connect

Connect: 監査のあらゆる段階において迅速、効率的かつ安全に被監査対象と情報共有を行うシステムです。安全かつ安心なデータ共有、タイムリーなステータス管理だけでなく、Connect上でコミュニケーションをとることができます。

• Extract

Extractは、被監査会社のERP(統合基幹システム)から会計データを自動で抽出します。データは暗号化・圧縮され、PwCのセキュアなデータプラットフォームに連携されます。これまで手作業で実施されていたデータの取得を自動化し、データ提供プロセスを簡素化することで、被監査会社と監査人の双方の時間を削減します。データは監査調書システムなどと連携することで監査の効率化・高品質化を実現します。

• Data Platform

Data Platformは、Extractと併せ、被監査会社のデータを安全に取得・送信・格納します。また、Data Platform上で、格納したデータに対してデータ可視化ツールやデータ分析ツールなどのツール群を操作しながら監査手続を行うことができ、深度ある監査の効率的な実施を可能にします。

自動化

• RPA(Robotic Process Automation)

監査チームから切り出され、TCCで標準化された業務のうち人の判断が不要な業務はRPAに移管することで、業務品質を維持しながらさらなる効率化を実現します。

• GL.ai

GL.aiは監査人の経験に基づく判断を実現できるよう組み込まれたアルゴリズムに従い、アップロードされた総勘定元帳にある全ての取引、ユーザー、金額、アカウントを調べ、不自然な取引を検出します。GL.aiを活用し、人間特有のバイアスなく会計仕訳を検証することで、さらなる監査の品質向上を実現します。

• Cash.ai

Cash.aiは、AIを活用して、決算書の現金および預金残高、銀行勘定調整表、銀行残高証明書、為替書類、銀行の財務状況といった被監査会社のデータを自動的に読み取り、理解し、監査手続を行います。監査実務への導入が実現すれば工数を削減するとともに、より高品質で信頼性の高い監査を提供できるようになります。

• Smart Audit Platform

AIを活用した監査手続を自動化する機能を備えるプラットフォームです。開示チェックと証憑突合について、監査手続の実施から調書の作成まで自動で行うモジュールの開発を進めています。監査実務への導入が実現すれば、工数を削減するとともに、より高品質で信頼性の高い監査を提供できるようになります。

高度なデータ分析

• Halo

PwCは、仕訳、有価証券、投資ファンド、暗号資産データなどの膨大なデータ分析の迅速化や結果の視覚化を可能とするデータ利用監査システムとして、Haloを開発しています。

• データ分析ツール

表計算ソフトでは処理しきれない大量のデータを迅速に加工できるデータ分析ツールを導入し、幅広いデータを効果的かつ効率的に分析することで、より多くのインサイトを被監査会社に提供していきます。

• データ可視化ツール

監査で用いられるデータの量は膨大で、かつ数値を主とすることから、そのままでは十分に理解することが困難な場合があります。これらのデータをビジュアルで表現することにより、データからより多くの情報を引き出すことができるようになります。

人事評価制度

自立型人財（会計×デジタル）の育成

DXが進展するなど変化の激しい時代において、PwCあらたの目指すデジタル社会に信頼を築くリーディングファームを実現するためには、社会の変化に合わせ柔軟に対応できるデジタル人財が必要と考えています。TCCでは、その実現のために、柔軟かつ主体的に行動できる自立型人財の育成に力を入れています。

自らの課題を見つけ出し、目標を達成するための指標として、会計とデジタルを組み合わせたCriteriaを設けています。また、仕事をもつ重要な価値を共有するとともに、安心・健全な職場環境を築くことも大切であるため、TCCでは、能力開発・評価に関する公平な制度を導入しています。これらを人財の品質向上につなげ、組織的な業務品質の向上、ならびに法人の業務変革推進に寄与することを目指しています。

Criteria

～能力開発・評価の基準～

～AA～

- ✓ TCCが請け負う業務について、レビューアの指示に従い、適切に実施することができる
- ✓ TCCで請け負う業務以外にもチームの指示に至外、柔軟に対応することができる
- ✓ 表計算ソフトや文書作成ソフトを利用して手続きを実施することができる

～AA～

- ✓ 監査やアドバイザリーといった従事分野の基本を十分に理解し、自紙がなくとも、所定の手続きに即して効率的かつ能動的・自発的に監査補助業務を遂行することができ、チームメンバーやクライアント担当者からの信頼を得ることができている
- ✓ TCCでの業務について、指示がなくとも、適切に実施することができる
- ✓ デジタルツールを活用できるスキルを有し、簡易なデータ分析を実施することができる

～AA～

- ✓ TCCが請け負う業務について、業務の標準化と効率化とデジタル化の観点から、改善提案を行い部門のミッションに貢献することができる
- ✓ デジタルツールを活用できるスキルを有し、複雑なデータ分析を実施することができる
- ✓ 一連の業務とビジネスを理解しており、効率化や生産性向上に質する改善提案を行うことができる

～TS～

- ✓ 簿記2級以上の資格を有している
- ✓ 業種による違いがあまりない勘定項目の内部統制の運用テストおよび実証手続を詳細な指示がなくとも適切に実施することができる
- ✓ アドバイザリー業務の一部の領域を指示に基づき責任をもって担当することができる

～TS～

- ✓ 業種による特徴ある勘定科目の内部統制の運用テストおよび実証手続を詳細な指示がなくとも適切に実施することができる
- ✓ 監査計画、内部統制の整備テスト、完了の補佐を実施することができる
- ✓ デジタルツールを活用して複雑なデータ分析を実施することができ、またプレゼンテーション資料を作成できる
- ✓ アドバイザリー業務の一部の領域を自ら進んで担当することができる

～TS～

- ✓ 業務受入から計画、実施、完了までの全体の流れを理解しており、エンゲージメントのコアスタッフとしてインチャージをサポートすることができる

～Senior TS～

- ✓ 業務受入から計画、実施、完了までの全体の流れを理解しており、インチャージの代理としてクライアントとのコミュニケーションを行うことができる
- ✓ 各種プロセスの内部統制の整備評価をリードして実施することができる



Point !

一人ひとりの能力開発のサポートとして、コーチ制度・メンター制度があります。

✓ コーチ制度

職員一人ひとりに育成担当がつき、個人の成長を継続的かつ計画的にサポートしていきます。成長の度合いを確認したり、キャリアプランについて相談できます。

✓ メンター制度

先輩社員が指導係（メンター）となり、5～10人のチームで情報を共有する仕組みを導入しています。チャットを活用するなどして、些細な疑問、互いの悩みや課題をリアルタイムに相談し合えるので、安心して仕事に取り組みます。

→詳細は10ページへ

～AA～

求められる人財像

～TS～

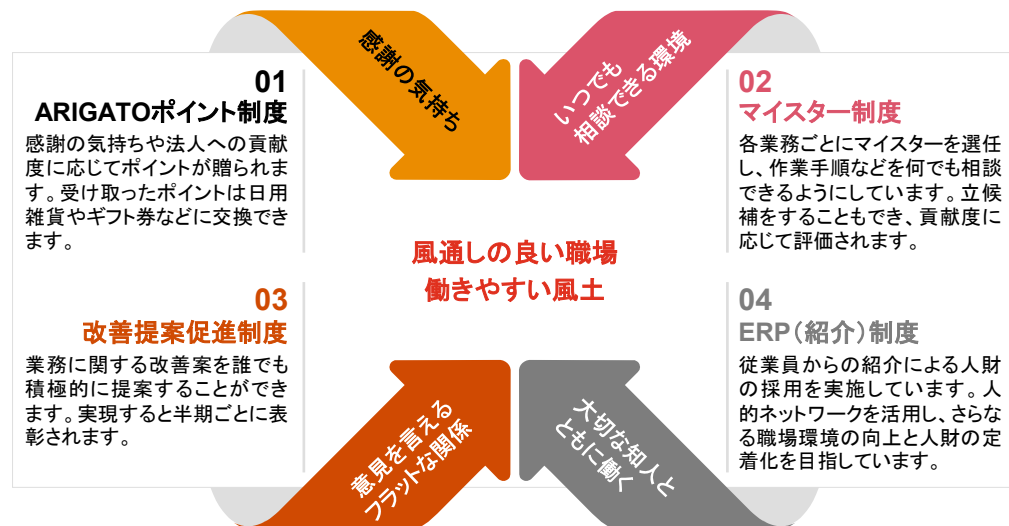


福利厚生・社内制度

多様な人がいるTCCだからこそ、
「より働きやすく！より効率的に！」
PwCにはTCCメンバーが利用できる多くの福利厚生・社内制度があります。

働きやすい職場環境の醸成 ～社内制度～

TCCの特徴的な4制度についてご紹介します。



働きやすい職場環境は職員の健康から

PwCの福利厚生についてご紹介します。



毎年の健康診断は、社内の健保システムから全国の契約病院の人間ドッグを受診することができます。自分のタイミングで病院を予約でき、さらに、毎年健康診断を受けることにより付与されるポイントからオプションを追加したり、健康グッズなどの購入も可能です。

また、毎年秋冬に流行するインフルエンザの予防接種も全額補助となります。



年に1度の法人の全体会議、年に数回の部署による全体会議が設定されています。法人・部署の今後の動向や現在の状況・課題点などをシェアしています。また、ランチ会などの催しも企画されており、メンター・コーチ会だけでなく、仕事上での悩みを共有しやすい場となっています。職階や普段仕事するチームに関係なく率直に疑問や意見を呈したり、趣味の話をしています。コロナ禍では、リモート開催がメインとなっています。

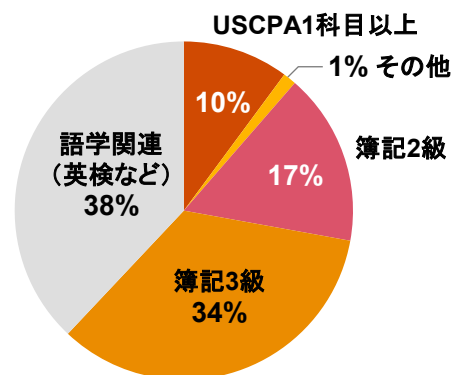
キャリアプランの支援 ～資格費用補助制度について～

TCCメンバーに聞きました！

TCCでは、業務上の必要性が高い会計知識およびシステムの資格の取得に係る費用補助制度があります。また、語学力向上のみならず、グローバルビジネスを遂行するうえで求められるスキル習得を目指し、語学学校費用補助制度も活用することができます。

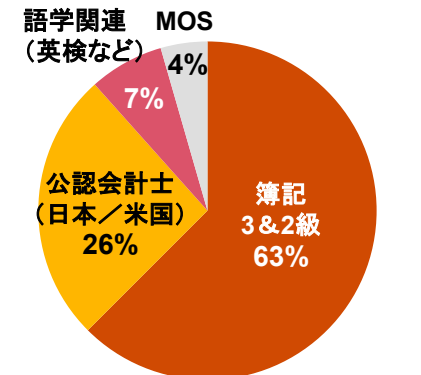
入所後に取得した資格

入所後、5割のTCCメンバーが、資格費用補助制度を活用し、資格を取得しています。



現在勉強中の資格

約6割のTCCメンバーが資格費用補助制度を活用し、資格取得を目指しています。



※ 希望者には簿記2級の研修も用意

コーチ・メンター制度を活用して...



コーチ

コーチが無理なくワークライフバランスを保てるよう、定期的な面談の設定はもちろん、普段から気軽に話せる関係づくりを心掛けています。また、家庭をもつ会計士として仕事だけでなく、家庭との両立、キャリア形成の相談にも乗っています。

コーチには、さまざまな悩みを相談しやすく、困りごとをすぐに解決してくれる心強い存在です。私の毎日はお仕事、家庭、資格の勉強、この3つがメインとなっています。相談しやすいコーチがいるおかげで、勉強する時間を捻出することができています。



コーチー



メンター

私自身の経験を踏まえて、フルタイムで働きながら資格を取得することについての相談に乗ったり、直接コーチに相談しにくい、または聞きにくい些細な悩みなどに対応しています。メンターは、コーチとの橋渡し役も担っています。

メンター制度の魅力は、どのようなキャリアを築き正社員になったのかをメンターから直接聞ける点です。また、働き方やさまざまな悩みについてコーチとメンターから客観的な意見を頂いたり、社内の調整もしてくれるので、安心してお仕事に取り組めます。



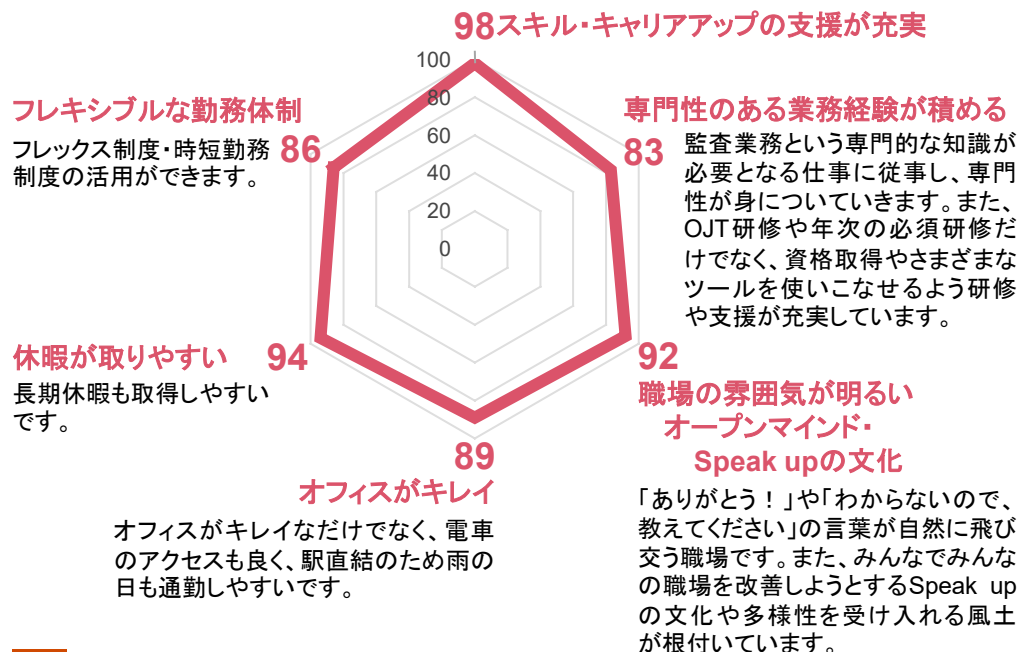
メンティー

INTERVIEW ～労働環境について～

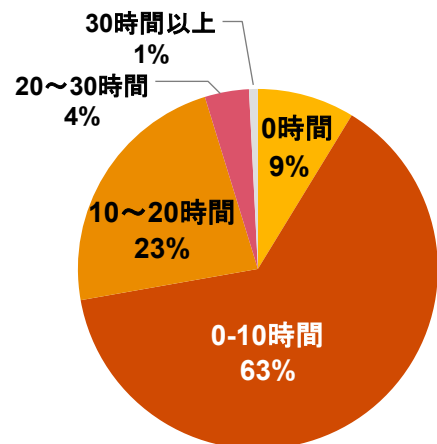
TCCメンバーに聞きました！

Q 職場の1番の特徴は？

※職場の魅力について聞いてみました。



Q 1カ月の平均残業時間は？



繁忙期は残業するのが当たり前という雰囲気になりがちですが、そこはチーム一丸となり、「定時に終わらせる！」という意気込みで、集中して取り組んでいます。



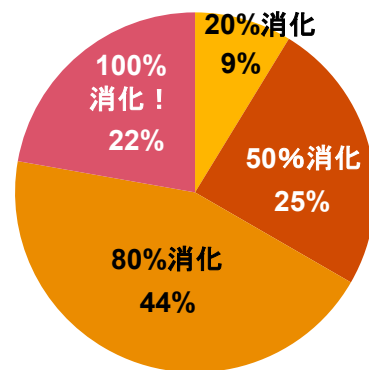
AA

監査チームからさまざまな依頼がきますが、リソースとタスク管理の調整だけでなく、メンバーの状況も常にキャッチアップし、無理な仕事量にならないようにしています。



コーチ

Q 1年間の有給取得率は？



監査スケジュールに沿ってお仕事を進めるため、予定が組みやすく、急なお休みでも調整できるので、とても働きやすいです。長期休暇も取れるので、旅行や短期留学も可能です。



AA

産休・育休は女性だけの休暇ではありません。家族のライフイベントに合わせて長期休暇を取得している男性メンバーもいます。



コーチ

フレックス制度・時短勤務の働き方

PwC Japanグループでは、フレックス制度・時短勤務を導入しています。コアタイムの設定はありませんので、社内規程に則り始業・就業時刻を自分で調整できます。両方の制度を利用して8:45～15:00で働いているママも在籍しています。それぞれのライフスタイルに合わせて働けるため、効率よくプライベートと仕事の両立ができます。ママだけでなく、仕事帰りに資格取得のため、学校に通っているメンバーもいます。

時短制度のおかげで、出社の日でも余裕をもって行動ができ、子どもと過ごす時間を多くとることができています。



2017年10月入所
林 加奈子
(1児のママ)

産休から復職へ

TCCでは、他の部署と比較すると女性が多いのも特徴の1つとなっています。長期休暇から復職する職員も多く、無理な働き方にならないように、休暇明けのフォロー体制も整えています。

復職してからフルタイムでお仕事をしていますが、子どものお迎え時間に支障が出ることはありません。また、有給休暇が取得しやすく、家庭の事情に合わせて休みを調整できます。コーチ・メンター制度のおかげで、すぐに相談しやすい環境が整っていることが私には1番の安心材料です。



2017年1月入所
中野 美樹
(1児のママ)

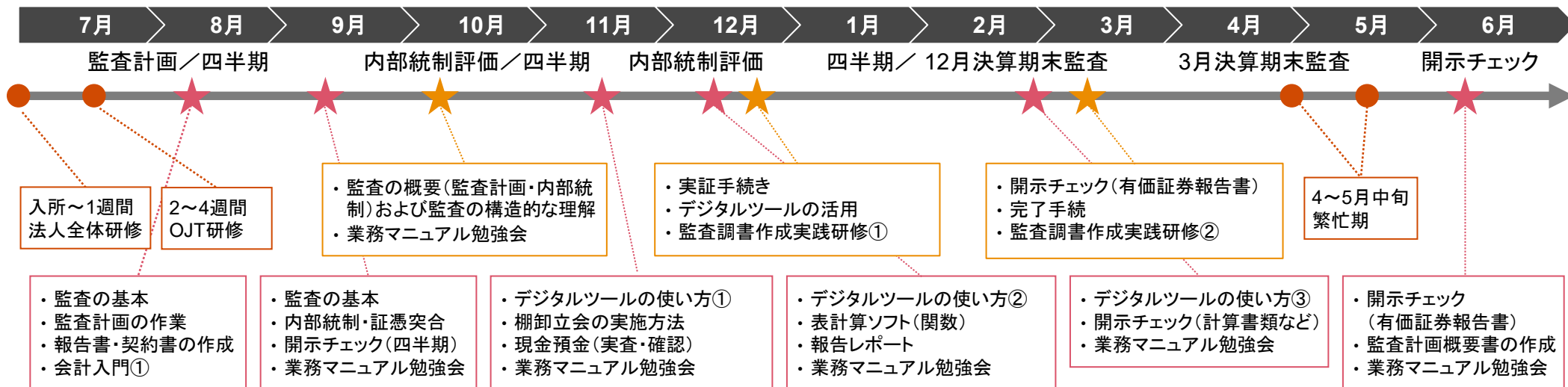
産休＆育休、2年間の休職から復帰しました！

ワークショップ

Assurance Assistant & Technical Specialist

年次、職種別に研修を用意しています。コロナ禍では、リモート研修を実施しています。

未経験でも安心してスタートできるよう、入所から約1か月間はOJT研修となります。また、研修後も先輩にすぐ質問できるサポート体制が整っており、社員一人ひとりを大切に育てる風土があります。



入所～1年目AA



2021年3月入所 黒崎 彩乃(AA)
前職:航空業界

入所の決め手は？

これまでカスタマーフロント職しか経験したことがなく、一般的にオフィス業務と呼ばれるものを経験したことがなかったため、自身のスキルを向上させることができるのではないかと思います。志望しました。

入所してみて...

入所前は監査法人と聞くと堅いイメージがあったのですが、入所して働き方や社内の雰囲気が自由で驚いたと同時に、とても働きやすいと感じました。Speak upと言って自分の意見を上司に伝えることが推奨される文化も素晴らしいと思います。また、文書作成ソフトや表計算ソフトなど、PCスキルは身に付くと思います。私は入所前までほとんど使用したことがなく、会計知識もゼロだったので業務についていけるか不安でしたが、入社後に研修やOJTで丁寧に教えてもらえました。

2年目AA～TS



2016年9月入所 中井 芳美(TS)
前職:独立系Sler

入所の決め手は？

主人の転勤を機に大阪から東京へ引っ越してきました。慣れない東京で転職するにあたり、ワークライフバランスを大切にしていることを第1条件に探しました。また、新しい業界にチャレンジしてみたいと思い入所を決めました。

入所してみて...

前職がSEでしたので、監査・経理には全く詳しくなく、業種も違うため、最初はとても戸惑いました。監査業務に従事していくにつれ、IT監査に興味を持ち、CISA(公認情報システム監査人)を取得しました。簿記2級の取得やCISAの試験勉強をスタートしたのは、お仕事が慣れてからの数か月後からです。資格取得の道のりを振り返ると、資格支援制度 やチームのサポートもあり、チャレンジ精神に対して寛容な社風だと思います。「監査法人＝堅そうな職場」を想像していましたが、組織に対して発言の機会が多く与えられており、風通しの良さを感じます。